



こんにちは、株式会社のぐちです！ 9月です。今月は防災月間。最近ではゲリラ雷雨や地震が多いですね。ちょっと心配です。と思っていたところスマホで避難シュミレーション[水害編]というものを見つけました。3分でできる避難訓練。いざという時にあわてないよう、クイズ形式で災害時の行動をチェック。事前に計画をたてられるようにするものです。必要なアプリの紹介もありました。お子さん向けのチャレンジメニューもあり、親子で楽しめそうです。小山市も洪水被害を受けたことがありました。断水してしまい給水車に水を貰いに行ったり、少ない水を沸かして行水したり…のど元過ぎれば熱さ忘れる。今一度思い返してみましよう！
それでは皆さま今月も明るく元気に宜しくお願い致します。

ぎのぐち

9月の歳時記

里芋 (さといも)

9月といえば中秋の名月。別に芋名月とも呼ばれます。この芋とは里芋のことです。
里芋の原産国はインド東部からインドシナ半島にかけて、日本への渡来は紀元前に中国から説と南方から太平洋諸民族による説があります。渡来時期ははっきりしませんが、稲の渡来(縄文時代)より古いとされています。日本で稲作が始まったのは弥生時代ですが、その以前、縄文時代に焼き畑農業が行われており、その中心作物は里芋で、稲作以前の主食だったと考えられています。里芋の記録として最も古いものは「万葉集」にあります。また、平安時代の「延喜式」には里芋の栽培方法が記されています。当時、主食としての穀類があまり豊かではなかった中で、里芋は重要な作物であったようです。里芋はさまざまな農耕儀礼と結びつき、各地に里芋にまつわる風習や行事が残っています。例えばお正月のお雑煮。奈良や京都を中心とした関西地方ではお餅とともに里芋を入れます。鹿児島など地方によってはお餅をいれず、大きな八つ頭だけというところもあるようです。お月見の時には月見団子や里芋を供えます。山形の芋煮会は良く知られていますね。里芋は繊維質・ビタミンB1、B2、カルシウム、カリウムも豊富。大切な栄養源ですね。美味しく頂きましょう。きぬかつぎはいかがですか。

今月も元気よく笑顔で伺いますので、
笑顔でむかえて下さいね。

これいいじゃん

便利グッズ研究会からのお知らせ

私たち「便利グッズ研究会」では独断と偏見で選び抜いた便利グッズを皆様にご紹介することを生きがいとしております。ハイ！今回ご紹介するのは、

顔認証ハイスピードカメラTS

まだまだ感染対策が必要な状況下、サーマルカメラが活躍しています。でも顔認証が上手くいかなかったり、検温待ち時間が気になったりとかこうストレスになりませんか。この顔認証ハイスピードカメラTSは高性能カメラとAI搭載で測定速度0.3秒以下の高速検温。離れた場所でも顔認証可能(最大2m)。店舗などたくさんの人が訪れる場所では流れを妨げず長い距離での検知。オフィス受付などでは立ち止まって短い距離での検知など設置状況に応じて設定変更が可能です。また、警告アラートの設定温度やマスク着用検知の設定も本体とマウスがあればPC不要で設定変更ができます。スリープ状態でも画面はブラックアウトせず待機画面になります。人がいない夜間などは防犯用品としても活用可能です。最大10万件の検知記録を保存できて「これいいじゃん」ってわけ。ぜひ皆さまも試してみてくださいね。



希望小売価格 123,000円(税別)

スタッフ登場

「コピー機のメンテナンス」
こんにちは。CE・大音です。
常日頃から当社販売の複合機を御愛用頂き有難う御座います。
早いことで(株)のぐちに入り、今の複合機メンテナンスの仕事に付いて25年目となります。
そんなお客様のメンテナンスをさせて頂いている中で、割りとトラブルにつながるのにも多く見受けられるのが、カセットの用紙が不揃いにセットされている事です。
カセットの用紙が不揃いだと、用紙とガイドに隙間ができ、斜めに送られたり、きちんと送りローラーが当たらず紙詰りを起こしたり、最悪は用紙がトレイに引っ掛かり、リフト板の上昇を妨げ、故障表示となる可能性があります。
お客様でも簡単に心掛けられますので、『あ、用紙をきちんと揃えて無かった。』と心当たりのある方は、注意してセットして見て下さい。

